

2022年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	篠木 賢一	職名	准教授	学位	修士(体育学 鹿屋体育大学 2001年)
----	-------	----	-----	----	----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
体育方法学	幼児の運動能力 バレーボールの戦術

研究課題
子どもの喫食上の問題行動に関わる要因を、咀嚼能力・運動能力との関連について考察する。

担当授業科目
スポーツ実技(通年) 子どもの運動あそび(前期) 子どもと健康(前期) 子ども学基礎演習(通年) 子ども学特別演習(通年) 保育・教職実践演習(後期) 保育実習指導I・II(通年) 保育所実習I・II

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 子どもの運動あそび 】</p> <p>子どもたちのあそびを実際に行うことによって、体験的に運動発達の理解を促している。また、運動あそびの果たしている役割を理解し、「あそぶ力」と「あそびを発展していく力」を身につけるために、指導・補助のポイントや安全管理について解説し、グループワークを通して実践力の向上を図っている。</p>
<p>授業科目名【 子どもと健康 】</p> <p>子どもが自らの体や健康に関心を持ち健やかに成長していくために、幼児期の体の諸機能の発達や生活習慣の形成を、幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿って解説した。また、生活習慣の獲得を促す環境や援助方法について、事例をもとに学生が自ら考えられるように授業を進めた。</p>
<p>授業科目名【 子ども学特別演習 】</p> <p>子どもの運動あそびや健康を中心としたテーマを学生の興味・関心に沿って決定し、実践に生かせる研究活動を行っている。まとめた研究結果はオープンキャンパスで展示し、公表する機会を設けている。</p>
<p>授業科目名【 保育・教職実践演習(幼稚園) 】</p> <p>様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、2人1組で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生に保育者としての意識が高まるように配慮した。</p>

学会における活動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
九州・体育スポーツ学会 日本保育学会 日本バレーボール学会	会員 会員 会員	1997年～ 2012年～ 2013年～

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文) 1.保育者の資質としての運動指導観と遊び環境への理解の変容—2年間の養成課程の学びと実習を通して—	共著	令和5年3月	西南女学院大学紀要 27巻	保育者養成課程の学生（短期大学）を対象に行った2ヶ年調査の結果分析。運動指導観と遊び環境を理解する能力を身につけ変容させていく過程と保育観形成との関連について、無記名アンケートより明らかにした。運動指導観と遊び環境への理解には明確な相関はみられなかった。遊び環境への理解については、子ども中心保育観と関連して高められるという結果が得られた。 篠木賢一・末寄雅美・命婦恭子・阿南寿美子・笠修彰
2.保育者養成課程における援助観の縦断的調査	共著	令和5年3月	西南女学院大学紀要 27巻	保育者養成課程の学生（短期大学）を対象に行った2ヶ年調査の結果分析。対象学生が在籍している2年間に4回の質問紙調査を実施し、援助規範意識を測定した。実習前後に援助規範意識が安定している群と変化する群が見出され、変化する群は実習を経験することで安定している群の援助規範意識に近づく傾向が示された。 笠修彰・命婦恭子・阿南寿美子・篠木賢一・末寄雅美
(学会発表) 1.バレーボールにおける地方学連選抜チームのチームづくりに関する事例研究	共著	令和5年3月	日本バレーボール学会第28回大会（ポスター発表）	2022年度第23回西日本大学バレーボール学連女子選抜対抗戦において優勝したA学連選抜チームのチームづくりに関して、短期間にどのようなチームづくりを行ったかという事例研究。学生主体のミーティングを取り入れるこ

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				とで、会話量が増え選抜チームという状況下においてもチーム力及び戦術的思考力・遂行能力が向上したと考えられる。 村川誠・沼田薫樹・濱田幸二・篠木賢一・坂中美郷

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
九州大学バレーボール連盟 附属シオン山幼稚園「運動あそび」	女子強化委員 女子強化委員長 講師	2006年～現在に至る 2021年～現在に至る 2013年～毎月1回程度

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
大学キャンパス・ハラスメント防止・対策委員 2017年度～現在に至る 学生委員 2021年度～現在に至る 教育経費予算配分委員 2018年度～現在に至る 排球部 監督 2014年度～現在に至る